平成29年度　第5回・権現の森づくり報告（日本山岳会岐阜支部）

（通算204回）

　　　　　　　　　　　　　支部長　高木基揚　　　　記録者　神山敬三

平成29年6月4日（日）　天候　快晴　気温午後12時19度C

参加者------　西條好・藤井法・白木貞・小島孝・杉山美・竹中美・馬淵等・大口瑛・下畑佐・神山敬　10名

自然観察会

1　昨年6月26日に行った植樹木生育の追跡調査を実施した。（西條先生の指導のもと、樹高、地際径、胸高直径、状況などをしらべる）

成長著しい木もあるが、食害により主幹が枯れ新たに根元から萌芽したもの、雪により折れたものがあり、自然の厳しさを知る。

2　午後は、直接草木に触れ、西條先生の講義を受けた。

作業報告

　1　新設作業小屋のためのコンクリートブロックを、設置予定場所まで歩荷した。

2　自然観察会終了後、登山道の階段を補修しながら下った。

近況報告

1. 下側の巨木ブナ（ブナ婆）の根元が表土流出により、根の露出が目立つようになった。土砂流出防止の手立てが必要か？
2. 小屋建設の部材を、5月26日にトラックにて登山口まで搬入した。（竹中　、市橋）

次回作業予定日　6月25日（日）　ふじはし道の駅7時30分出発

　　　　　　　　作業予定　簡易道具小屋資材の歩荷

　　　　　　権現森づくり　事務局　竹中　佳美　090-1563-96460

自然観察会　　樹木生育調査状況



　　　権現の主、トチノキの樹勢が衰えたか



　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　栗の木に出来た「虫こぶ（虫癭ちゅうえい）」

